中間選挙情勢：「赤の引き潮」と「青い波」

予測市場は民主党による下院の多数派確率99%、上院は98%。注目・接戦州の開票動向が焦点

下院

総議席435改選（過半数218）

多数派獲得確率

民主党	99%
共和党	1%

民主党の下院奪還が優勢

上院

総議席100（35議席のみ）

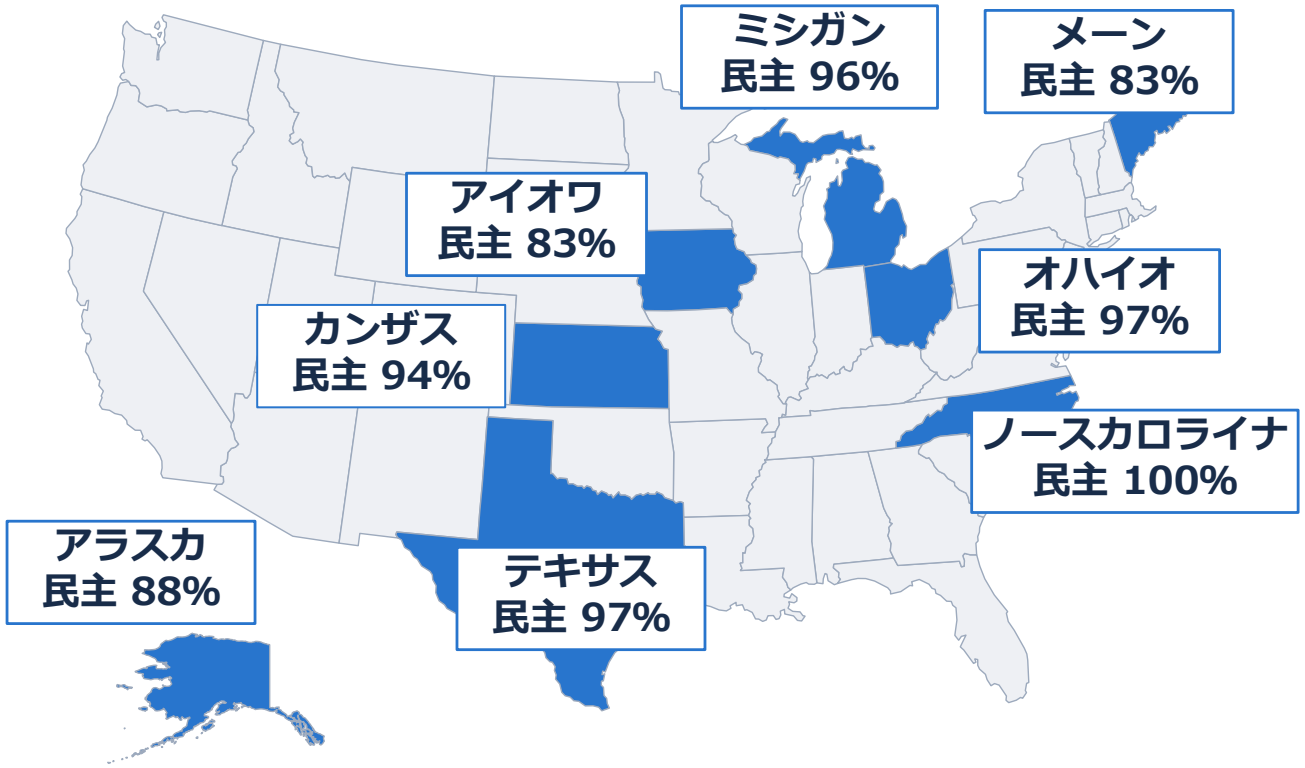
多数派獲得確率

民主党	98%
共和党	2%

民主党の上院奪還を強く織り込む

州別の上院選予測（注目・激戦8州の情勢）

各州の数字は民主党候補の当選確率



青：民主党候補が優勢　赤：共和党候補が優勢

灰色は今回の表示対象外。注目8州のみ色分け。

注：予測市場の表示確率であり、得票率・予測議席数ではない。価格差により両党の合計が100%にならない場合がある。
出所：Polymarket各市場（2026年11月4日午前確認・日本時間）。市場の表示確率であり、当確ではない。

中間選挙：上院多数派を左右する注目・接戦8州

現行上院100議席：共和党53議席、民主党系47議席（無所属2を含む）。今回は補選を含む35議席を選出。
注目8州で民主党が５勝なら民主党系51議席、上院多数派を奪還へ（他州で議席移動がない場合）。

アラスカ州
現在：共和党議席

民主党候補 88%
メアリー・ペルトラ
共和党候補 12%
ダン・サリバン

民主党が勝てば18年ぶり

ミシガン州
現在：民主党議席

民主党候補 96%
アブドゥル・エルサイード
共和党候補 3%
マイク・ロジャーズ

初のイスラム教上院議員誕生か

メーン州
現在：共和党議席

民主党候補 83%
トロイ・ジャクソン
共和党候補 18%
スーザン・コリンズ

民主党が勝てば38年ぶり

オハイオ州
現在：共和党議席

民主党候補 97%
シェロッド・ブラウン
共和党候補 2%
ジョン・ハステッド

民主党が勝てば8年ぶり

テキサス州
現在：共和党議席

民主党候補 97%
ジェームズ・タラリコ
共和党候補 3%
ケン・パクストン

民主党が勝てば38年ぶり

カンザス州
現在：共和党議席

民主党候補 94%
アダム・ハミルトン
共和党候補 6%
ロジャー・マーシャル

民主党が勝てば94年ぶり

アイオワ州
現在：共和党議席

民主党候補 83%
ジョシュ・トゥレク
共和党候補 16%
アシュリー・ヒンソン

民主党が勝てば18年ぶり

ノースカロライナ州
現在：共和党議席

民主党候補 100%
ロイ・クーパー
共和党候補 1%未満
マイケル・ワットリー

民主党が勝てば18年ぶり

注：予測市場の当選確率であり、支持率・当確ではない。100%は表示上の丸め。合計が100%にならない場合がある。「○年ぶり」は州内の前回民主党上院選勝利から。

出所：Polymarket各州上院選市場（2026年11月4日午前確認・日本時間）。確率は随時変動。

選挙後に市場が警戒するリスク要因

選挙通過後も、政治の混乱・中東情勢・原油・金利・AI投資・政治対立に注意

- **接戦州の開票長期化や結果への申し立てが不透明要因に**

  アラスカ州など共和党地盤の選挙区で大統領が違法選挙を訴え混乱状態に至るか。

- **イラン情勢の再緊迫化と原油相場の上昇**

  米国の再攻撃や報復の応酬が原油の供給不安を招き、インフレと企業コストを押し上げる。

- **FRBの追加利上げ懸念と長期金利の上昇**

  インフレが収まらず利上げ傾向が長期化すれば、景気と株価の割高感が意識される。

- **AI投資の回収懸念とデータセンター規制の争点化**

  巨額投資の回収遅れや債務負担の増大不安、規制強化への懸念が重なるとAI関連株を圧迫。

- **レイムダック議会の財政対立と政策停滞**

  予算協議や債務上限への対応が難航すれば、政府閉鎖や債務不履行への警戒が再燃する。

出所：各種の報道や情報より作成（2026年11月初時点）

米国株価と「恐怖と貪欲指数」の推移

「他人が貪欲なときには恐れ、他人が恐れているときには貪欲であれ」（ウォーレン・バフェット）

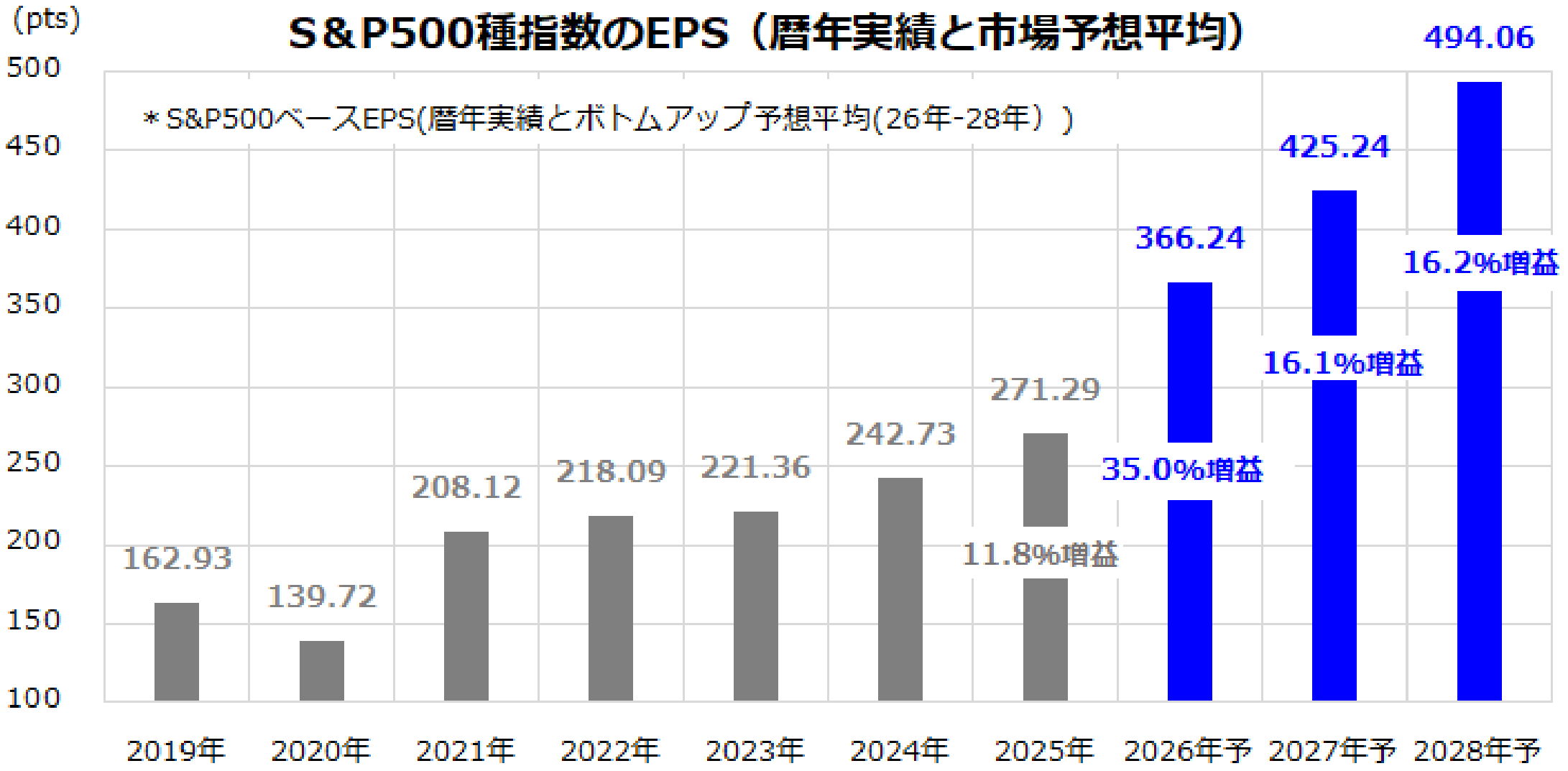


注：Fear and Greed Index（恐怖と貪欲指数）は、投資家心理とテクニカル面での過熱度と不安度を示す。25以下は市場の「極度の不安」、75以上は「極度の強欲」を示唆する。

出所：S&P Dow Jones Indices、CNN Business（11月3日時点）

先行きの最高益更新期待が株高基調を支える

決算とガイダンスの発表を反映し、業績見通しは一段と上向いている



出所：I/B/E/S（LSEG）集計による実績とボトムアップ予想平均EPS（2026年10月末時点）